

P  
〔単元の目標〕

- ・外国人観光客に根室の魅力を伝えるために、動画を通して、根室にあるものやないもの、そこでできることなどについて紹介することができる。

D  
〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	目的意識、相手意識を大切にした単元ゴールの設定、導入の工夫	
②	「自由進度学習」で身に付ける知識及び技能 ※本校における「自由進度学習」は児童が自分で計画を立てて進める学習	
③	児童の言語活動を充実させるためのICTや外部人材の活用	

C  
〔単元の目標の達成状況〕

- ・「自由進度学習」の課題を児童全員が合格した。
- ・学習した英語表現を活用し、グループごとに動画を完成させ、根室市長をはじめとした学校外の方々に向けて発表した。
- ・作成した動画を根室市観光協会のモニターで12月8日から上映していただく予定である。また、中標津空港や道の駅などでの上映もこれから交渉予定である。

A  
〔改善の方向性〕

- ・魅力ランキングから課題が明確になり、意欲の向上が見られたが、外国語での伝わり方が十分ではなかったため、ALTなど外部からの人材を活用して「外国人観光客を増やすために自分がどう関わることができるか」という課題解決の意識を自分事とし、多様な方法を自ら選択し、試しながら実現できるような工夫をしていく。
- ・今回は、動画に絞ったが、「発信」という点で、自分が一番魅力を伝えられ相手に伝わる発信方法は何かを吟味させ、自ら選択できるようにしていく必要がある。そうすることにより自分の地域について考えたり、良さを見付けようとしたりする姿がより見られるようになると思う。

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

### ①目的意識、相手意識を大切にした課題の設定、導入の工夫

#### 〔児童（生徒）の活動〕

- 外国人観光客を増やすための方法を考える→動画作成



- 根室市長、教育長など外部の方々に地域活性化案を提案し、動画を上映する。

#### 〔教師の指導〕

- 外国人観光客が感じている日本の魅力ランキングや、日本、根室市、釧路市の外国人観光客数の表を見せ、根室市にはなぜ外国人観光客が少ないのか問いかける。
- 外国人観光客を増やすために、何ができるか尋ねる。

- 総合的な学習の時間で取り組んでいる活動と組み合わせ、実際に動画を外部の方々に視聴していただき、各業界で動画を使っていただくようにした。

#### 〔工夫点〕

- 日本の魅力ランキングと根室の魅力が重なっていることを確認し、そこから「魅力があるのに伝わっていない」ことを実感させた。
- 隣の市である釧路市の外国人観光客数と根室を比べることで、そのギャップへの驚きから、課題意識をもたせた。
- 作って終わりにするのではなく、地域活性化の行動の一つとして、作成物が本物になるように外部との連携を図った。

# 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

## ②「自由進度学習」で身に付ける知識及び技能

※本校における「自由進度学習」は児童が自分で計画を立てて進める学習

### 〔児童（生徒）の活動〕

#### ○ 英語だけでコミュニケーションをとる活動をする。

今回の基本的な学習の流れ

- ①あいさつ(5分)
- ②イングリッシュタイム(5分)
- ③自由進度学習(30分)
- ④振り返り(5分)

#### ○ 学習計画を決め、自分のペースでMissionカードを進める。

Mission 1

まなびユーアの単独の音声を参考に、発音に気をつけて下のミッションカードの単語を読んで、音声を録音しよう！

Mission 3

教科書p76の「Let's listen and read」の文章、挿し絵を参考に、Meiji Park, Samma festival, Cape Nosoppuの中から一つ選んで、そこでできることをその単語などを伝えて、2人1組の2人以上と先生1人に紹介してサインももらおう。

### 〔教師の指導〕

- イングリッシュタイムとして、英語のみを使う時間を取り、Missionや動画作成につながるような言語活動を設定した。

- 単元の指導計画を児童と共有し、表現を身に付けるMissionを準備した。
- チェックテストを設定し、指導に活かす評価を行った。

### 〔工夫点〕

- 英語しか使ってはいけないというルールの下、相手に分かるように説明する言語活動を行うことで、ジェスチャーやアイコンタクトなど、コミュニケーションで大切な伝え方が自然と出る環境づくりをした。
- なるべく自分の力で進められるように、ヒントカードを用意した。
- 相手に伝えるMissionを取り入れ、外国語のコミュニケーションが減らないよう心掛けた。

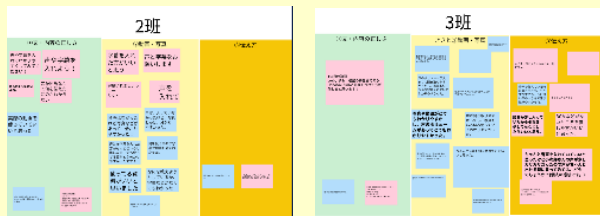
# 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

## ③児童の言語活動を充実させるためのICTや外部人材の活用

### 〔児童（生徒）の活動〕

- iPadのアプリ「iMovie」を使用し、動画を作成する。

- 中間発表で他のグループの良いところと改善点を伝え、動画づくりに活かす。



### 〔教師の指導〕

- 自分たちで進められるよう、見本の動画や、アプリの基本的な使い方など全てロイロノートを活用して共有した。
- 音声の録音と字幕で、話すこと（発表）と書くことの評価をできるようにした。

- 進捗状況や改善点などに気付くために、全体で確認する時間を取り、評価のポイントを児童と確認した。また、ALTには中間発表の時だけではなく、学習過程からアドバイスをいただいた。

評価方法  
①文章や内容が正しいか  
②使用している動主、写真は最適な  
か  
③紹介しているものが魅力的に伝  
わる伝え方か  
良いところ→ 改善点→

### 〔工夫点〕

- 著作権などの情報モラルについての指導をした上で、紹介したい内容に合わせて写真や動画を選べるよう、観光協会や地域おこし協力隊の方から、写真や動画を提供いただき、児童が自由に使えるようにした。
- ロイロノートの共有ノートの機能を使い、児童同士でコメントを書き合い、見られるようにし、動画作成の改善に生かせるようにした。